

決算審査 特別委員会の審査から

総務費

▼2款1項1目 一般管理費

問 真岡市ケーブルテレビの平成28年度末での加入世帯数を伺う。

答 平成28年度末の加入状況は、加入目標3769世帯に対し、実績は3719世帯で、加入率は12.9%である。加入の内訳は、テレビのみの加入が2094世帯、インターネットのみの加入が232世帯、テレビとインターネット両方の加入が1393世帯である。

問 避難所整備費1474万2000円が支出されているが、整備内容を伺う。また、整備が完了した避難所は何か所になるのか。

答 主な整備内容は、11か所に防災用の備蓄倉庫を設置し、備蓄倉庫に配備する非常用発電機、サークルライト等の資機材を購入した。この整備により36か所の指定避難所で整備が完了した。

▼2款1項6目 企画費

問 ふるさと寄附推進事業費について、事業費の内訳及び寄附者謝礼品の内容を伺う。

答 事業費761万円の内訳は、寄附者謝礼品代741万円とインターネット受付システム使用料20万円である。寄附者謝礼品の内容は、いちご、冷凍本とろろ大和芋、生しいたけ、自家焙煎コーヒーなどの人氣が高く、その他にも真岡の地酒、新米やメロンなど、123種類を取り揃えている。

民生費

▼3款1項1目 社会福祉総務費

問 障がい児通所支援事業費が前年度に比べて増額した理由を伺う。

答 放課後等デイサービスにおいて、サービス対象となる障がい児等が増加したこと、サービスの受け皿となる民間事業所が増えて一人当たりの利用量が増加したこと、共働きの世帯の増加等による潜在的ニーズがあったこと、日中一時支援のサービス利用者が放課後等デイサービスに移行したことによるものと考ええる。

▼3款1項3目 老人福祉費

問 緊急通報システム整備事業の具体的効果及び実績について伺う。

答 平成28年度は、208件の出動があり、そのうち33件で救急搬送を行うなど、高齢者の見守りに、非常に効果があったものと考えている。

教育費

▼10款1項3目 教育振興費

問 臨床心理士への相談件数及び内訳について伺う。

答 平成28年度における相談件数は618件であり、児童生徒からの相談は213件、保護者からの相談は239件、教員からの相談は166件である。その主な内訳は、学習・進路に関する内容が176件、特別支援教育に関する内容が168件、不登校相談が132件である。

問 小中学校における不登校の子ども達の状況及びもおかライプリー教室に通う子ども達の人数を伺う。

答 平成28年度の不登校児童・生徒数は、小学生20名、中学生97名で合計117名である。

また、平成28年度に、もおかライプリー教室に通級した児童・生徒数は、小学生2名、中学生21名で、合計23名である。

▼10款2項2目 教育振興費

問 学校図書館専任司書5名の各校への配置状況について伺う。また、子ども達の読書量はどの程度増えたのか伺う。

答 平成28年度から市内小学校の18校全校に学校司書5名を配置し、学校規模により、週1回から2回、巡回している。

子ども達の読書量については、学校司書を配置したことにより、着実に児童の利用は増えており、平成28年度の児童利用者は12万7030人であり、前年度の7万7924人に比べ、4万9106人増の約1.6倍となっている。貸出冊数は9万8579冊であり、前年度の8万3280冊と比べ1万5299冊増の約1.2倍となっている。

